



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2021.7月号

新型コロナウイルス感染症に伴う当館の対応について

開館しています

プラネタリウム

投影実施中

イベント

申込制にて開催

○今後の状況により、開館日や行事の予定などが変更となる場合があります

○ご迷惑をおかけして大変申し訳ありませんが、ご理解・ご協力をお願いします

最新情報につきましては、ホームページ等でご確認下さい。

■会場：平塚市博物館特別展示室
■休館日：月曜日（8月9日）は開館。8月10日（火）は休館
■入館無料 ■開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

7月16日（金）～9月5日（日）

その時、それまで、それから

平塚空襲

二〇二一年度夏期特別展



関連事業

記念講演会「二宮・大磯・平塚における日本軍の本土決戦体制」

講師 ■市原誠氏（郷土史研究家）

日時 ■7月25日（日）午後1時30分～3時

定員 ■30名 会場 ■博物館講堂

締切 ■7月13日（火）

※当日消印有効・応募フォームの場合は同日中

展示解説会

日時 ■①7月31日（土）午後1時30分～午後2時30分

②8月22日（日）午後1時30分～午後2時30分

定員 ■30名 会場 ■博物館講堂

締切 ■①7月20日（火）②8月12日（木）

※当日消印有効・応募フォームの場合は同日中

【申し込み方法】

各イベントとも、往復はがき、または博物館WEBの応募フォームに行事名・氏名・住所・電話番号を記入してお申し込みください。1申し込みにつき2名まで。応募者多数時は平塚市内在住者を優先し、抽選。

サイト ■ <https://hirahaku.jp/tokuten/2021Airstrike/>



1945（昭和20）年7月16日の平塚空襲から75年が過ぎた現在、空襲体験者の高齢化も進み、市民のなかで空襲の記憶が薄れゆく可能性がますます高まっています。一方、平塚市博物館で活動するワーキンググループ「平塚の空襲と戦災を記録する会」の活動は30年を超え、空襲体験者の証言を記録した『炎の証言』も21号を発刊するに至っています。この間、同会の調査研究活動により空襲による被害の実態や空襲時の人々の行動の一端が明らかにされ、さらに、空襲にいたるまで、空襲後における市民生活の動向も明らかにされつつあります。

そこで、本特別展では同会の調査研究成果に加え、館外の研究者のご協力も得て、明らかにされた平塚空襲の実態とその前後の地域の様子や市民生活を紹介いたします。ご来館の皆さまに平和と戦争を考える機会としていただければ幸いです。



国土地理院標準地図に加筆し作成

★7月のプラネタリウム★

～7月18日(日) フリートーク・プラネタリウム

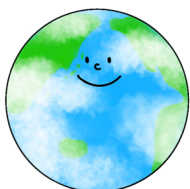
「フリートーク・プラネタリウム」は、毎年一ヶ月限定の平塚市博物館名物(?) 投影です。通常は投影時間の前半が当日の夜の星空のご案内、後半がテーマについてのお話ですが、フリートーク・プラネタリウムでは50分間すべて解説員が自由に話します。どんな話が飛び出すかは始まるまでわかりません。お楽しみに!(当日夜の星空案内は欠かさないでご安心を!)

7月	月	火	水	木	金	土	日
午後2時				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
午後2時						☆	☆
	12	13	14	15	16	17	18
午後2時						☆	☆
	19	20	21	22	23	24	25
午後2時						☆	☆
	26	27	28	29	30	31	
午後2時			☆	☆		☆	

☆: 投影日

7月24日(土)～9月26日(日) 惑星たちのNo.1 決定戦

太陽系には水星・金星・地球・火星・木星・土星・天王星・海王星の8つの個性的な惑星があります。その8つの惑星たちの“No.1”はどれ(誰?) でしょう。いちばん大きな惑星は? 衛星をたくさん持っている惑星は? 地球から見てもっとも明るい惑星は? などなど、さまざまな“量”のNo.1を決める惑星たちの戦いの幕が切って落とされます。はたして金メダルをもっとも多く獲得するのはどの惑星なのか? 彼らの熱い(?) 戦いをご覧ください。

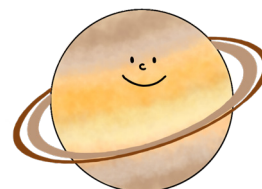


<声の出演>

オグラミツヒロ(雑貨団)・柴原 崇(雑貨団)

<イラスト>

金子 じゅん



- ・定員: 32名 / 自由席(座れる席は一席おきになります) ・投影日時: 右上の表を参照
- ・観覧料: 200円 (18歳未満65歳以上の方は無料 / 65歳以上の方は年齢を確認できるものをご用意ください)
整理券を当日午前9時より受付で配布 (今回に限り代表者のみでも可、5枚まで)
その後、午後1時15分～午後1時45分に観覧券を販売
- ・観覧者全員が揃ってから観覧券をお求めのうえ、午後1時45分までに3階にお越しください
- ・入場前に連絡先の記入と検温を行っていただきます (体温が37.5℃以上の方とそのお連れ様はご入場いただけません)
- ・マスクの着用をお願いします ・投影開始後のご入場、途中退出はできません

学芸員のミニコラム：2021年夏のオススメ天文現象

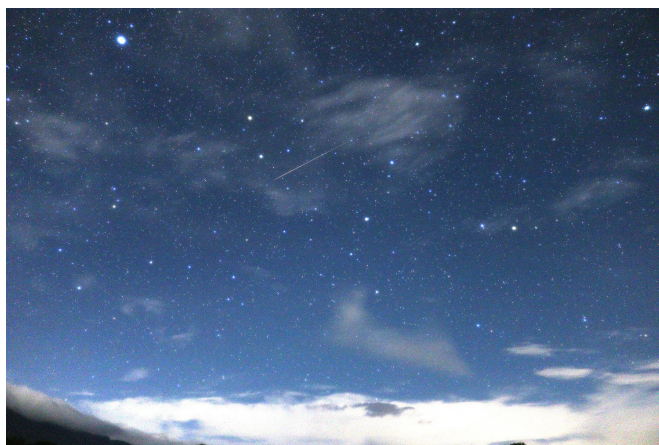
梅雨が明けると、いよいよ夏も本番。暗くなるのが遅い時期ではありますが、陽が落ちれば少しは涼しくなるでしょうか。なかなか遠出がしづらいご時世ですが、だからこそ、今年は夕涼みも兼ねて、おうちの近くでのんびり星見はいかがでしょうか？この夏、オススメの天文現象をいくつかご紹介しましょう。

ペルセウス座流星群：8/13 未明

夏の風物詩の一つ、ペルセウス座流星群。今年は月明かりや極大時刻（もっとも流星がたくさん流れる時刻）などが8年ぶりに好条件で、例年よりも多くの流星が見られると期待されています。

とはいえ、平塚の街中では1時間に10個流れるかどうか……なるべく開けた、まわりに街灯などがない場所で見上げるようにしましょう。流星群観察にもっとも必要なものは、実は根気なのです。

流星はペルセウス座が空高く昇る明け方に多く見られます。しかし、ペルセウス座の方向を見る必要はありません。なるべく空全体を見るようにしましょう。



2020年のペルセウス座流星群（提供：秋山純代さん）

伝統的七夕：8/14

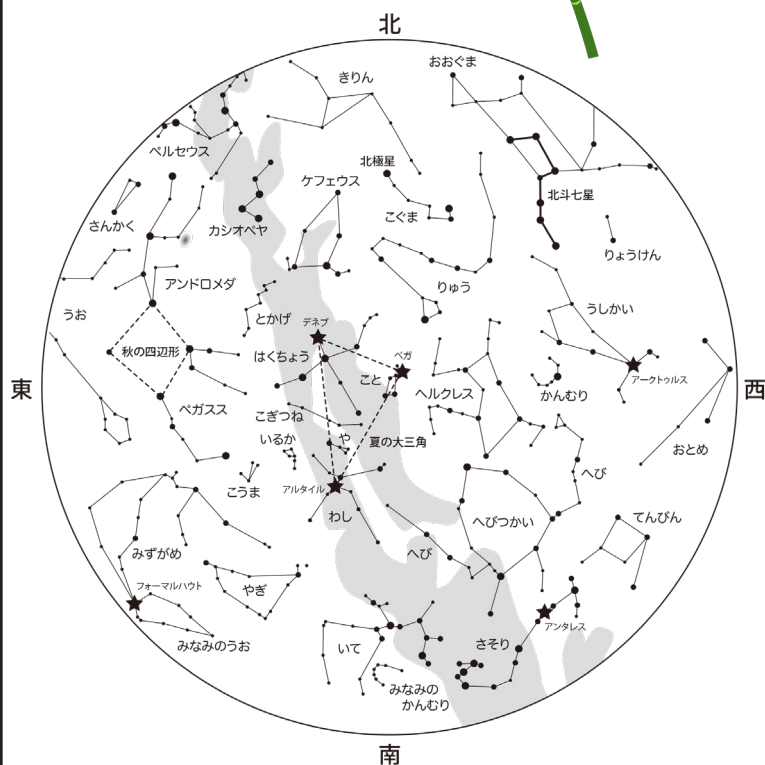
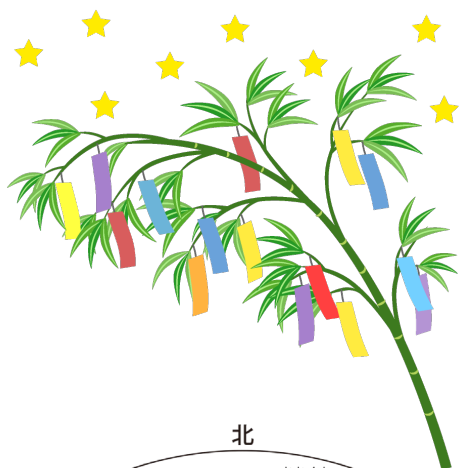
七夕といえば七月七日、と覚えている方がほとんどだと思いますが、元々は旧暦（月の満ち欠けを元にした暦）で行われる行事でした。現在の暦と旧暦の間には日付のズレがあり、旧暦七月七日は、今年は現在の暦の8月14日です。この日が旧暦の七夕…伝統的七夕の日なのです。

現在の暦の7月7日は梅雨の真っただ中…なかなか七夕の星たち（織女星＝こと座のベガと牽牛星＝わし座のアルタイル）を見ることが叶いません。旧暦であれば梅雨も明け、さらに暗くなってすぐに頭の真上近くに七夕の星たちが輝きます。南西の空低くには半月に近い月も見られ、織女が牽牛に会うために乗った船に見立てられることもあります。7月7日だけでなく、この日にも七夕の星たちを見上げてみませんか？

木星・土星が見頃：8月中旬以降

太陽系の2大惑星、木星と土星が夏から秋にかけて見頃を迎えます。夜21時頃、南東の空に並んで輝く明るい2つの星を見つけることができ、その左側が土星、右側が木星です。望遠鏡で見ると木星は縞模様が、土星は環（リング）が見えます。博物館の「星を見る会」でもご覧いただけますので、見てみたいという方はぜひお申し込みください！

【天文担当 塚田健】



2021年8月中旬21時頃の星空（国立天文台天文情報センター）

1 木	展示解説ボランティアの会	講堂		プ
2 金	古文書講読会	講堂		リ
3 土	祭りばやし研究会	科学教室	☆	ト
4 日	平塚の古代を学ぶ会	科学教室	☆	ーク
5 月	休館			・
6 火				プ
7 水				ラ
8 木	石仏を調べる会	講堂		ネ
	古代生活実験室	科学教室		タ
9 金	古文書講読会	講堂		リ
10 土	東国史跡踏査団	講堂	☆	ウ
11 日	地球科学野外ゼミ	野外	☆	ム
12 月	休館			
13 火	聞き書きの会	特別研究室		
14 水				
15 木				
16 金	古文書講読会	講堂		
	地域誌研究ゼミ	特別研究室	☆	
17 土	平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室	☆	
18 日	生き物ズームプロジェクト	野外	☆	
19 月	休館			
20 火				
21 水	民俗探訪会	野外		
	裏打ちの会	科学教室		
22 木				
23 金				
24 土			☆	
25 日	○ 特別展関連講演会	講堂	☆	
26 月	休館			
27 火	天体観測会 太陽分科会	講堂		
28 水			☆	
29 木	○ とりの手羽先骨格標本を作ろう	講堂	☆	
30 金				
	天体観測会	講堂		
31 土	天体観測会 太陽分科会初心者コース	科学教室	☆	
	○ 特別展展示解説会	講堂		

情報ポ
スト特
別展「
火球と
隕石」
(9月8
日まで)

寄新
着資料
展【自
然】

平塚空
襲

その時、
それまで、
それから
(9月5日
まで)

市内遺
跡めぐり
(9月5日
まで)

惑星た
ちのNO
1決定戦
(9月26
日まで)

7月の休館日：5日(月)、12日(月)、
19日(月)、26日(月)

【来館のご案内】

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
入館料：無料

プラネタリウム観覧料：200円（減免などの詳細は2頁参照）

休館日：月曜日（祝日の場合は火曜日に振り替え）

月末日（特別展開催期間や土・日曜日は開館）

年末年始・くん蒸・点検等

その他、予告なく休館する場合がございます。

ご了承ください。

1 日	○ 考古学ってなに？	科学教室		プ
	天体観測会 流星分科会	講堂	☆	特
	生き物ズームプロジェクト	野外		寄
2 月	休館			情
3 火				ポ
4 水	○ とりの手羽先骨格標本を作ろう	講堂	☆	ス
5 木	展示解説ボランティアの会	講堂	☆	ト
	○ 星を見る会	屋上		ーク
6 金	◎ 不思議な板で万華鏡を作ろう	講堂	☆	・
	古文書講読会	講堂	☆	プ
7 土	東国史跡踏査団	講堂	☆	ラ
8 日			☆	ネ
9 月				タ
10 火	休館			リ
11 水			☆	ウ
12 木	○ 化石レプリカをつくろう	講堂	☆	ム
13 金			☆	
14 土	祭りばやし研究会	科学教室	☆	
15 日			☆	
16 月	休館			
17 火	聞き書きの会	特別研究室		
	○ 体験！宇宙飛行士選抜試験	講堂・プラネ		
	○ 化石レプリカを作ろう	講堂		
18 水	民俗探訪会	講堂	☆	
	裏打ちの会	科学教室		
19 木	古代生活実験室	科学教室	☆	
	○ 星を見る会	屋上		
20 金	古文書講読会	講堂	☆	
21 土			☆	
22 日	天体観測会 天文学分科会	講堂	☆	
	○ 特別展展示解説会	講堂		
23 月	休館			
24 火				
25 水			☆	
26 木	石仏を調べる会	講堂	☆	
27 金	古文書講読会	講堂	☆	
	天体観測会 定例会	講堂・屋上		
28 土	地域史研究ゼミ	特別研究室	☆	
	平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室		
	○ 自然教室	野外		
29 日	平塚の古代を学ぶ会	科学教室	☆	
	天体観測会 流星分科会	講堂		
30 月	休館			
31 火				

☆：プラネタリウム投影日 ○：申込制行事 ◎：参加自由
無印：年間会員制 プ：プラネタリウム一般投影
特：特別展 寄：寄贈品コーナー展示 情：情報コーナー展示

皆様へのお願い

- ◎新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用など咳エチケットの徹底にご協力をお願いします。
- ◎展示をご観覧の際は、他の来館者に手が届かない程度の距離を保つように心がけてください。
- ◎展示室内での会話をお控えください。
- ◎展示物にはお手を触れないようお願いします。
- ◎以下のような方はご来館をお控えください
 - ・咳や37.5℃以上の発熱など、風邪のような症状のある方
 - ・過去2週間以内に発熱や感冒症状で受診や服薬などをされた方
 - ・過去2週間以内に海外への渡航歴がある方
 - ・感染もしくは感染の疑いのある方が身近にいらっしゃる方

ご協力お願いいたします。

あなたと博物館 49巻4号 通巻534号 発行 平塚市博物館 2000

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949 ホームページ <https://www.hirahaku.jp/>

